

学会発表等

2025年

- 榎勢道彦 50周年記念シンポジウム「重症心身障害児・者におけるリハビリテーションの展望：これからの実践構造を再考する」. 第50回日本重症心身障害学会学術集会
- 大嶋志穂 シンポジウム「重症児・者の個別性の高い姿勢運動の発達、経年的変化の理解について」. 第50回日本重症心身障害学会学術集会
- 岡田雄一 姿勢が局所換気に及ぼす影響：電気インピーダンス・トモグラフィ（EIT）による検討. 第50回日本重症心身障害学会学術集会
- 南千尋 脊柱後方矯正固定術後に姿勢制御支援環境を併用した運動療法を行った事例の一考. 第50回日本重症心身障害学会学術集会
- 原可奈子 優秀演題賞候補演題「重症心身障害者の姿勢と局所換気の関係：電気インピーダンス・トモグラフィ（EIT）による検討」. 第57回日本小児呼吸器学会学術集会

2024年

- 榎勢道彦 教育講演「『F-words』に基づく子どもの障害と支援の考え方：機能、家族、健康、楽しみ、友だち、そして未来」. 第50回日本コミュニケーション障害学会学術講演会
- 榎勢道彦 シンポジウム「理学療法士の視点：評価と実際～理学療法士は何をみて何をしているか～」. 第56回日本小児呼吸器学会学術集会
- 大嶋志穂 重症心身障害児の呼吸障害の経年変化と理学療法についての後方視的検討. 第56回日本小児呼吸器学会学術集会
- 榎勢道彦 シンポジウム「安全でおいしく楽しいその一口のためにできること：姿勢保持の視点から」. 第49回日本重症心身障害学会学術集会
- 榎勢道彦 シンポジウム「理学療法士の「手」の役割についての再考」. 第49回日本重症心身障害学会学術集会
- 大嶋志穂 頭部コントロールシステムの使用による頭部コントロールと視覚機能の変化について. 第49回日本重症心身障害学会学術集会
- 木村基 一本の線が切り拓いた世界：入所者と地域を結ぶ展覧会. 第49回日本重症心身障害学会学術集会

2023年

榎勢道彦 教育講演「重症心身障害児者の慢性呼吸障害に対する理学療法とその先にあるもの」, 第48回日本重症心身障害学会学術集会

大嶋志穂 食事場面での頭部サスペンションシステムの使用による頭部コントロールについて, 第48回日本重症心身障害学会学術集会

木村基 親子で楽しむアート活動: 地域に根ざす活動・空間を目指して, 第48回日本重症心身障害学会学術集会

佐藤隆之介 能動的な動きで「その人らしい表現」を引き出すための作業療法, 第48回日本重症心身障害学会学術集会

原可奈子 重症心身障害児者入所施設における慢性呼吸障害に対する腹臥位療法中の中止理由と有害事象について, 第55回日本小児呼吸器学会学術集会

大嶋志穂 重度脳性まひ児に対する頭部サスペンションシステムの継続した使用による頭部コントロールの変化について, 第10回日本小児理学療法学会学術大会

2022年

榎勢道彦 臨床セミナー「24時間姿勢ケアにもとづく発達と生活の支援」, 第9回日本小児理学療法学会学術大会

大嶋志穂 GMFCSレベルVの子どもにおける頭部サスペンションシステム使用による頭部コントロールに対する効果について, 第9回日本小児理学療法学会学術大会

2021年

榎勢道彦 シンポジウム「在宅呼吸リハビリテーション」, 第53回日本小児呼吸器学会

2019年

榎勢道彦 教育講演「重症心身障害児の発達とその障害への対応」. 第54回日本理学療法学会学術大会 第6回日本地域理学療法学会学術大会
榎勢道彦 シンポジウム「重い障害を持つ子ども達の‘Fun’について考える：周りの人たちの協力とアイデアがあれば、障がいはなくなるんだよ～小学3年生の保育所等訪問支援を通して～」. 第54回日本理学療法学会学術大会 第6回日本小児理学療法学会学術大会
榎勢道彦 ハンズオンセミナー「側臥位で即臥位！子どもと家族にとって優しく、易しい姿勢のご提案」. 第52回日本小児呼吸器学会
泉谷憲正 重症心身障害児施設利用者の生きがい作りに向けた喫茶活動の試み. 第30回重症心身障害療育学会学術集会
松野菜々 重度アテトーゼ型脳性麻痺のある成人女性の「しぐさ」に着目した作業療法の展開. 第7回日本発達系作業療法学会

2018年

岡田雄一 LIFEによる生活機能評価から重症心身障害のある成人の機能的変化をとらえる～生命維持機能に関与する要因と機能低下の予防について～. 53回日本理学療法学会学術大会 第5回日本小児理学療法学会学術大会
大嶋志穂 LIFEによる生活機能評価から重症心身障害のある幼児の発達の变化をとらえる. 53回日本理学療法学会学術大会 第5回日本小児理学療法学会学術大会
泉谷憲正 喫茶和らぎの取り組みを通して自発性が向上した一症例. 第44回日本重症心身障害学会学術集会
榎勢道彦 ハンズオンセミナー「重症心身障がい児（者）に対する呼吸理学療法：その理論と実践」. 第51回日本小児呼吸器学会

2017年

増田加奈 当苑における外来での呼吸リハビリテーションの展開. 第50回日本小児呼吸器学会
大嶋志穂 就学前重症児の発達支援における理学療法士の役割について考える. 第43回日本重症心身障害学会学術集会

2016年

木村百合 重症児の高度下肢変形に対する整形外科的手術と術後リハビリテーションの取り組み. 第42回日本重症心身障害学会学術集会

榎勢道彦 重度な障害のある子どもの移動経験を支援する簡易電動移動ユニットの展開について. 第31回リハビリ工学カンファレンス
榎勢道彦 重症心身障害児者の客観的生活機能評価:改訂版 LIFE ver0.9 の信頼性の検討と今後の運用について. 第42回日本重症心身障害学会学術集会

2015年

泉谷憲正 能動的な移動手段の操作学習を支援した重症心身障害者の1例. 第49回日本作業療法学会
泉谷憲正 重症心身障がい者の潜在能力を引き出すための病棟との連携. 第3回日本発達系作業療法学会学術大会

2014年

榎勢道彦 重症児の下気道感染予防に Mechanical in-exsufflator(MI-E) のパーカッションモードが有用であった事例. 第47回日本小児呼吸器学会
岡田雄一 気道クリアランスに問題を抱えた24時間人工呼吸器を装着している重症心身障害児1例に対する MI-E(Mechanical In-Exsufflator) の使用経験について. 第1回日本小児理学療法学会学術集会
増田加奈 地域医療連携や職種間連携の重要性を再認した当苑初の整形外科手術症例の報告. 第40回日本重症心身障害学会学術集会
榎勢道彦 L I F E の検者間信頼性について. 第1回日本小児理学療法学会学術集会

2010年

泉谷憲正 母親との共同介入によりより良い姿勢反応を促せた重症心身障害者の一例. 第44回日本作業療法学会

論文

2025年

- 原可奈子 原著「重症心身障害児者入所施設における慢性呼吸障害に対する腹臥位療法中の中止理由と有害事象について」, 日本小児呼吸器学会雑誌
- 榎勢道彦 総説「理学療法士の視点：評価と実際～理学療法士は何をみて何をしているか～」, 日本小児呼吸器学会雑誌
- 榎勢道彦 総説「『F-words』に基づく子どもの障害と支援の考え方：機能、家族、健康、楽しみ、友だち、そして未来」, コミュニケーション障害学

2024年

- 榎勢道彦 総説「重症心身障害児者の慢性呼吸障害に対する理学療法とその先にあるもの」, 日本重症心身障害学会誌

2023年

- 大嶋志穂 「6F-words -Future 自立に向けた座談会-」, 小児リハビリテーション

2022年

- 榎勢道彦 総説「在宅呼吸リハビリテーション」, 日本小児呼吸器学会雑誌
- 榎勢道彦 特集「重度障害児に対して療育場面で実践する前傾姿勢と腹臥位の重要性とその効果について～呼吸ケアを中心に～」, 福祉介護テクノプラス

2021年

- 榎勢道彦 脳性まひ児の重症化予防；環境支援による活動と参加の視点から, 理学療法ジャーナル

2019年

榎勢道彦 LIFE：重症心身障害のある人々の生活機能の包括的評価．小児リハビリテーション

2018年

泉谷憲正 重症心身障害者の自己効力感を引き出すための活動．大阪作業療法ジャーナル

2016年

榎勢道彦 重症心身障害のあるこどもへの排痰ケア：筋緊張亢進を主症状とする場合．呼吸器ケア

泉谷憲正 重症心身障害者の潜在能力を引き出すための病棟との連携．日本発達系作業療法学会誌

2009年

榎勢道彦 運動発達障害児の歩行障害に対する教示法の実際—脳性まひを中心に．理学療法

泉谷憲正 ポジショニングの検討から開始した重症心身障害者に対する作業療法の経過について．大阪作業療法ジャーナル

2006年

榎勢道彦 先天性多発性関節拘縮症を持つこどもに対する PEDI を用いた効果判定の実際．理学療法学

執筆書籍

2021 年

榎勢道彦 実践に基づく重症心身障害児者の理学療法ハンドブック；理学療法評価のいとぐち. 株式会社ともあ
泉谷憲正 レクリエーション 第3版 活動と参加を促すレクリエーション；重症心身障害児・者. 三輪書店

2019 年

榎勢道彦 小児リハ評価ガイド；PEDI/LIFE. メジカルビュー社

2015 年

榎勢道彦 理学療法技術の再検証；重症心身障害児に対する理学療法技術の検証. 三輪書店
榎勢道彦 今日の理学療法指針；小児・発達 先天性多発性関節拘縮症. 医学書院

2012 年

榎勢道彦 小児から高齢者までの姿勢保持 第2版；日常生活と姿勢ケア. 医学書院

翻訳書籍

2006 年

榎勢道彦 脳性まひ児の24時間姿勢ケア：The Chailey Approach to Postural Management. 三輪書店

2004年

榎勢道彦 脳性まひ児と両親のための機能的治療アプローチ. 三輪書店

2003年

榎勢道彦 脳性まひ児の早期治療 第2版. 医学書院